



文学部 人文学科

国際文化コース

FACULTY OF LITERATURE
DEPARTMENT OF HUMANITIES
INTERCULTURAL RELATIONS COURSE

学びの分野

英語コミュニケーション

現代文化

サブカルチャー

こんなキミに学んでほしい

文学、映画、音楽、絵画、アニメ、漫画などの
幅広い文化を国際的な視点で考えたい人
さまざまな国のファッションや食文化など、
人々の生活に根ざした文化を探究したい人
グローバル時代に活躍するための英語力、情報発信力、
論理的文章力を鍛えたい人
多様化する現代社会が求める教育メソッドを備えた
英語教員をめざしている人

ワンポイントアドバイス

映画、音楽、アニメにゲーム、
私たちの身のまわりには楽しいことがいっぱい。
それらをただ受動的に受け入れるのではなく、批判的に分析しながら、
高度に情報化した現代文化のあり方を英語力を鍛えて探究しましょう。

このコースがめざすこと

異文化理解に向け、自分自身を見つめ直す

ボーダーレスに情報が行き交うことで新たな文化的影響が生まれている
現代では、国際的な視点で異文化を理解することが必要不可欠です。
映画でも演劇でも音楽でも、世界の多様なコンテンツの裏側にある価値
観や表現の交差を探っていけば、文化の多様なあり方の存在を実感で

きるでしょう。自分にとっての“当たり前”とは異なる価値観に驚き、違和感を覚えることこそ、新しい視点の獲得につながります。異文化理解と豊かな発想に向けて自分を見つめ直すチャンスにもなるのです。

3つのポイント

あらゆるテーマが 学びの対象になる

映画から音楽、演劇、ミュージカル、アニメ、
漫画、広告、宗教行事まで、多彩な題材を
扱いながら多角的に物事を捉え、価値観の多
様性を認める意識を育てます。

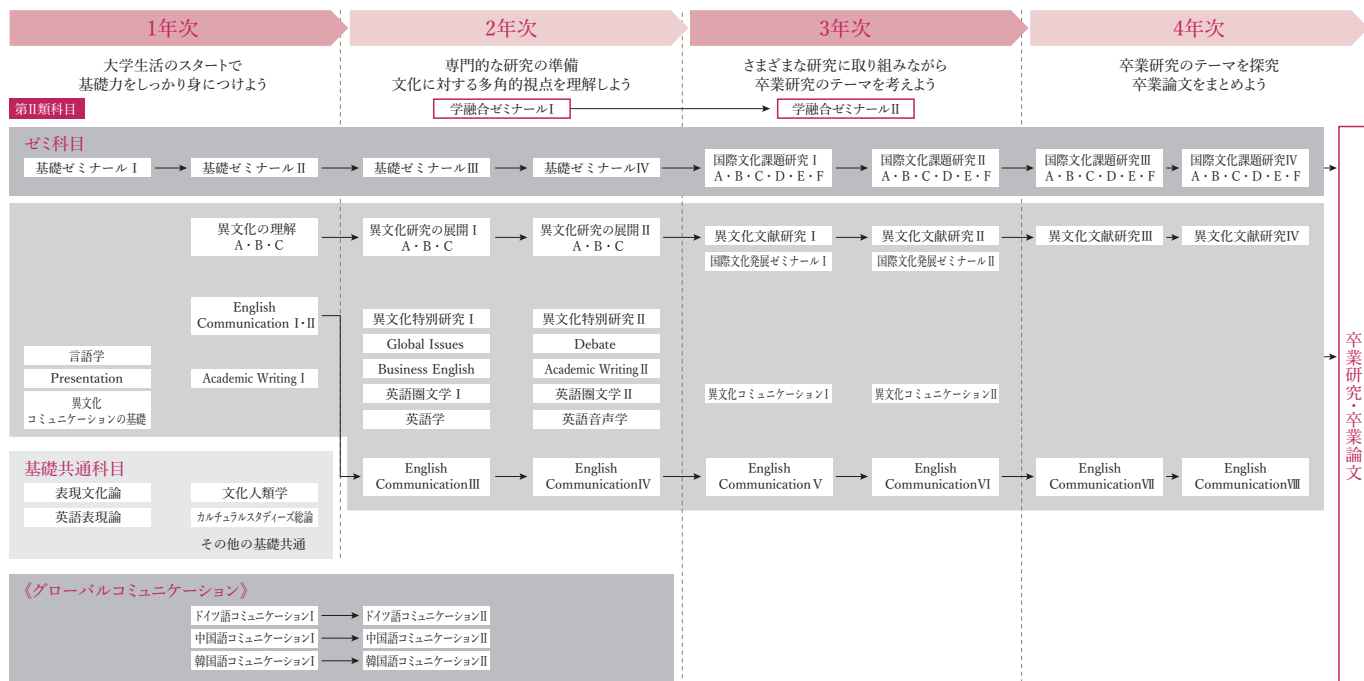
あらゆる方向から 国内外の文化を分析

日本文化を外側から、または海外の文化をそ
の内側から見て考察し、それぞれの歴史的経
緯も学習。日本が海外から受けた影響や、日
本が海外に与えた影響も学んでいきます。

国際的な活躍をめざし 英語力を重視

異文化理解を促進し、情報発信を広げる
ツールとしての英語力の向上を重視。実践的
な英語力を高めるカリキュラムで海外留学も
サポートします。

カリキュラム



国際文化コースの“学びのフィールド”



シンポジウム企画運営

学生が主体的に企画・運営し、研究発表や
議論を行うシンポジウムを開催します。テーマ
は企画委員の学生たちが決め、テーマに関す
る独想的な研究を発表するだけではなく、会
場設営や議事進行まですべて学生たちに運
営します。

私の理論×実践

学びの成果を発揮する、 多彩な活躍の場が広がっています。

得意の英語を試したいと1年次にオンライン留学をしたのが学生生活を豊かにする端緒になりました。自分の意
志を明確に伝える現地の学生に刺激され、私もそうありたいとコースの企画委員になり学年代表として活躍。シ
ンポジウム運営のリーダーや論文集の編集長も務め、人文学科の企画した講演会では、外国人研究者や通
訳者を講師に招き、司会進行を務めました。留学にも再チャレンジし、今度は十分に「対話」が成立して嬉しかっ
たです。学びを実践する場が多彩にあるので、意欲も知見も増す一方です。

TOPIC

コースを挙げて英語力強化をバックアップ

国際文化コースでは、すべての学生が半年ごとにTOEICを受験
し、英語力の向上を確認します。1年次から4年次まで選択で可
る「English Communicationプログラム」を展開。海外留学
も推奨しており、短期・長期の各種留学プログラムを利用できま
す。プログラムごとに奨学金制度があり、要件を満たせば、自己
負担を軽減することもできます。



卒業論文一例

- 「スーパー戦隊」シリーズにおける戦う女性
- K-POPアイドルのソーシャルメディア活用
— どのように他国のファンの関心を獲得のか —
- 「ポケモン GO」プレイヤーの潜在意識
- 英語圏の恋愛コミュニケーション研究
— 映画『アバウト・タイム』を用いて —
- 小学校英語教育について日本における
Team Teachingを中心に教員が抱えて
いる問題の研究

島田 莉里

人文学科
国際文化コース
4年
群馬県
高崎女子高等学校
出身

担当教員

名前	職階	専門	研究内容
伊藤 淑子	教授	アメリカ文化	アメリカを中心に、英語圏の文化を研究しています。授業ではディズニーやジブリなど幅広い題材で物語を分析しています。
伏木 香織	教授	民族音楽学、文化人類学	東南アジア地域（インドネシア、マレーシアなど）の芸能（音楽、舞踊、戯劇など）と社会、宗教とその組織、実践を研究。
星川 啓慈	教授	宗教哲学、言語言葉	言葉とリアリティ（現実）の関係を考えています。
天木 勇樹	准教授	外国語教育、異文化理解教育、国際比較教育学、教育社会学	英語でのプレゼンテーションなど、学習者がアクティブにかかわる総合的な学習プログラムの開発に取り組んでいます。
星野 壮	准教授	宗教社会学、文化人類学	グローバル化が進む日本社会において、日本に住む外国人たちの生活や文化、宗教について研究しています。
行森 まさみ	准教授	社会言語学、英語教育	「ことば」が社会や文化とどのように関わっているのかを研究。特に、国際的な共通語である英語の使用、英語を母語としない人たちの英語教育の問題に取り組んでいます。

シラバス



<https://www.tais.ac.jp/faculty/syllabus/>

教員情報



<https://www.tais.ac.jp/chinavi/>

@tais_nichibun

@kokusaibunka_taisho_uni